

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！まちの話題は動画でも配信しています。スマートフォンなどでQRコードを読み取ってご覧ください。

## 華やかな着物が旧来住家住宅を彩る

〔4月22日 旧来住家住宅〕



（左上）帯結び展示（左下）風呂敷包み体験（右）色鮮やかな着物を身にまとった振袖ショー

大正7年の完成から今年で100年を迎えた国の登録有形文化財・旧来住家住宅で、「来住邸きものdeあそび」が初めて開催され、着物姿の参加者ら約350人が振り袖ショーなどの催しを楽しみました。

着物の良さを再認識してもらおうと、市内の齋藤礼法きもの学院が主催。イベントでは、西脇北高生や播州織デザインナーら10人がモデルを務めた振り袖ショーのほか、色鮮やかな帯が並ぶ帯結び18点の展示、風呂敷包みやお土産の渡し方などを学ぶ礼儀作法の体験が行われました。

振り袖ショーの着物は、着付けを担当した同学院の生徒らが成人式で身を包んだものや、母親から譲り受けたもので、分院長の齋藤真弓さんは「着物は代々受け継がれるもの。これからも着物文化を伝えていきたい」と話しました。



郵便局や播州織工業協同組合の関係者らが片山市長にネクタイの完成を報告

## 三木染形と播州織が融合

〔5月10日 西脇市役所〕

三木市の伝統工芸・三木染形を播州織の技術で織り込んだ「三木染形×播州織伝統ネクタイ」が商品化されました。播磨北地区郵便局長会が地域の活性化に貢献しようとして制作を提案。制作に協力した播州織工業協同組合の皆さんが、型紙の繊細な柄を「織り」で表現されています。ネクタイは、綿100パーセントで、はっ水加工が施され、着用時に緩みにくいのが特徴です。

## プロ野球選手を夢見て

〔5月13日 総合市民センター〕

日本プロ野球OBクラブ主催の「第24回ダイワハウス全国少年少女野球教室」が総合市民センターで行われました。野球教室は「100万人とキャッチボールを！」をスローガンに、兵庫県では3年続けて西脇市で実施されています。市内外の12チームが教室に参加し、総勢250人の子どもたちが、往年のプロ野球選手14人から守備や打撃の基本を学びました。



あいにくの雨に見舞われ、体育館で打撃練習を行う子どもたち

## 妖怪を退ける射弓を披露

〔4月29日 長明寺〕



妖怪「鶴（めえ）」を模した的に矢を放つあやめ御前（頼政公の妻）役の兵庫教育大学生

第39回頼政祭が執り行われ、弓の名手で優れた歌人として知られる平安時代の武将・源頼政公をしのび、関係者らが供養塔を参拝しました。また、頼政公が妖怪を退治した伝説にちなんだ弓の演武が行われたほか、吟詠や剣舞、ハイキングなども行われ、多くの見物客でにぎわいました。

## 播州織の始祖の功績をたたえる

〔5月3日 岡之山公園〕



播州織の振興と家内安全・無病息災を祈願する大護摩供養

播州織の生みの親である飛田安兵衛翁をたたえる岡の山まつりが実施され、行者衆先導の行列による付近の練り歩きに続いて、飛田安兵衛翁の顕彰祭や、播州織の発展を祈願する大護摩供養が行われました。また、公園内では西脇東中学校吹奏楽部の演奏会やフリーマーケットなども開催されました。

## 伝統ある学びやを後世に引き継ぐ

〔5月13日 西脇小学校〕



西脇小学校南棟の記念室で工事内容の説明を受ける見学者

木造校舎3棟の保存改修を行っている西脇小学校で、最初に工事が完了した南棟の見学会を開催。約60名の参加者は工事を監修する足立裕司神戸大学名誉教授から工事概要や進捗よく状況などの説明を受け、以前の面影を残しつつ生まれ変わった校舎を見学しました。

## Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



重春・野村地区交流推進委員会が「第2回春のスケッチ大会 in みらいえ」を開催。約40人の親子連れらが思い思いの作品を描きました。（4月21日、茜が丘複合施設 Miraie）



第13回ふぁみり〜カーニバルが開催。多くの来場者があり、ステージイベントや体験ブースなどの催しを楽しみました。（4月29日、道の駅北はりまエコミュージアム）



「春のわくわく旬菜まつり」で、旬のタケノコや山菜など、春の山の幸を販売。飲食ブースも設けられ、買い物客でにぎわいました。（4月21日、北はりま農産物直売所）



オープンから15年が経つ道の駅北はりまエコミュージアムが来館者500万人を達成。節目の来館者に花束と記念品が贈呈されました。（5月2日、道の駅北はりまエコミュージアム）